

『あるって くるぶニュース』は、芸術分野の様々な活動とまちづくり運動を自主的に企画、運営、支援する市民のグループで、非営利組織の、『アルテクラブ』(Arte club)の活動状況のご報告と今後の予定、他の地域で活動しているグループの情報をお知らせするメディアです。ホームページ <http://arteclub.org> では、カラーでご覧になれます。

・・・こんな活動をしています、ご参加ください・・・

どなたでも参加できますが、会員には特典があります。

アルテクラブ ギャラリー

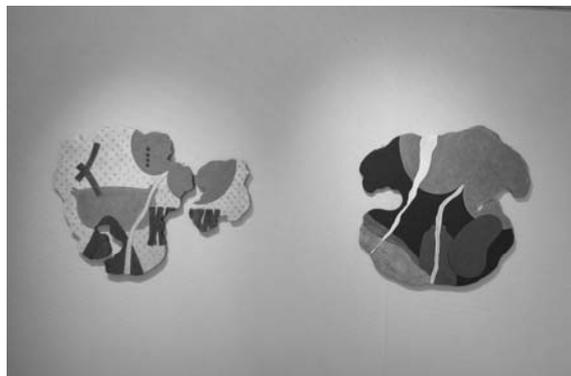
—— 活動のご報告 ——

成田昭展<平面オブジェ>

5月16、17、18、23、24、25日

成田さんの作品は、合板を切り抜き、絵の具を染み込ませた紙(街頭で配られているティッシュ)を張り込み、アクリルで彩色し、引っ掻いたり、彫りこんで下地の色

を線として見せている作品です。明るく優しい色使いの中に、描かれたもの達がエロティックに見えたり、グロテスクであったり、さりながら、全体を眺めると、牧場の風景を感じたりします。



—— これからのスケジュール ——

◆ 2003年 アルテクラブ企画展

酒井祐二展<平面>

6月13、14、15、20、21、22日

金土日のみ開廊です!

開廊時間 12:00~19:00 ・川越 三番町ギャラリー

★オープニングパーティー 6月12日(木)18:00~

音楽は、チェンパロの菊池香織里さん。チェンパロは北烏山のくユーロピアノ(欄)さんよりお借りすることになりました。

★作家プロフィール

2000 表現の磁場 - 日本画の現在 -

(武蔵野美術大学美術資料館)

2000 2000CAF (埼玉県立近代美術館)

2001 個展 (G - ART GALLERY)

2001 個展 (exhibitLIVE[laiv])

2002 つくられる平面 (Court Gallery Kunitach)

<酒井祐二の作品>

小野寺優元

「描く過程の中で、自分の絵と境界線が溶けていく」と自ら述べている酒井祐二の作品を見ていると、画面の材質感に誘われながら空間に吸い込まれ、未知の世界に遭遇できるような気がする。

——— これからのアルテクラブ展 ———

6月13日~

田中千鶴子展<立体>

7月 4日~

鷹啄栄峰展<平面>

9月 5日~

中村斎子展<立体>

10月 3日~

井草裕明展<平面>

11月 21日~

高山典子展<陶オブジェ>

12月 5日~

——— お知らせ ———

* 第2回『川越を描くピエンナーレ』

<アルテクラブ>は、実行委員会に参加しています。

作品展

平成15年6月11日~20日

9:00~17:00 月曜日休館

川越市立美術館

川越市郭町2丁目30-1

TEL 049-228-8080

今回も575点の応募があり、182点が展示されることになりました。

会場係りボランティア - アルテクラブ担当日は

11日(水)です。

作業は会場監視です。

今年の会場は、昨年12月に開館した、川越市立美術館。参加を希望される方は、アルテクラブ事務局の草野まで、連絡して下さい。皆さんのご参加をお待ちしています。

—— 活動のご報告 ——

♪成田昭展 オープニングコンサート

5月15日(木)午後6時から
 <イングリーズ クラリネット カルテット>

深江彰、山口由夏、鈴木美香、香川正尊の皆さん。
 武蔵野音大出身の皆さんは、昨年6月にも演奏していただきました。

今回の曲目は、ヘンリー・フィルモア「ザ・サーカス・ビー」、アルベニス「セビリア」、山田耕作「この道」、福島地方民謡「会津磐梯山」、ジャン・トペイト「動物のダンス」、ガーシュイン「アイガットリズム」軽やかで、スピード感に溢れ、思わずステップを踏みたくなる演奏でした。特に楽しかったのは、「動物のダンス」のなかのくくまが、ユーモラスでほんわかして演奏メンバーの深江さんそっくりだったのです。ふっふっふ。



イングリーズ クラリネット カルテットの皆さん



“本日のめにゅー”
 《 成田昭展 》

2003/05/15

- きのこのマリネ
- 豆がんと
- オリーブと松の実チキン
- 揚げ生春巻き
- ゆで卵とアボカドのサラダ
- 新じゃがローズマリー
- 焼きピーマンのマリネ

- 抹茶ミルクゼリー
- オニオンブレッド

 Food Coordinated & Cooked by CHIAKI

○タケノコライス (MAKI Special)

千秋さんが主催する“Chiaki Table Studio”のHPができました。スタジオで開かれるイベントや教室のご案内などが載っています。美しい写真もご覧になれます。 URL <http://www5d.biglobe.ne.jp/~chiaki/t/>



♪ 酒井祐二展オープニングコンサート
 6月12日(木)午後6時ごろより
 菊池香織里さん

神奈川県に生まれ、東京藝術大学音楽学部器楽科チェンバロ専攻卒業。文化庁芸術家在外研修員としてイギリスの王立音楽大学に留学、ARCMディプロマ、大学院ディプロマを取得。

2002年9月アサヒビール芸術文化財団より助成を受け東京文化会館小ホールにて「菊池香織里室内楽コンサート」を開催。ソロ、室内楽等で活動を続けている。

チェンバロ：スピネット

ドイツとフランス国境に近いシュトラズブルクの工房で1767年に制作されたバロック・ロココ調外観のスピネットを、ノイベルト社が再現したものです。

—活動のご報告—

★桐生まち歩き～アート&織物ネットワーク
5月17日(土)

桐生には、今年2月にアルテクラブ企画展に登場いただいた木彫の丸尾さんのアトリエがあります。今回の桐生訪問の目的は、ノコギリ屋根の織物工場だった、そのアトリエを訪ねることと、持ち主の北川さんにお会いして、産業の歴史を残す工場を、新しく文化の匂いがする工房として復活させようとしているその取り組み方のお話を伺うことです。

<桐生まち歩き雑感> 小野寺優元

社会は、経済の降って沸いたような隆盛時には、文化を育むことを忘れ、表層的な享楽に走り、通り過ぎていったお金の後姿をながめながら、文化の重要性を知るようです。桐生の街を歩いて、このところの日本のおかれた状況を見るような気がしました。

桐生はかつて日本の近代化の先頭に立って繁栄した街です。当時の世界地図を見ると、東京、京都の他に桐生の名が日本の都市として記されています。繊維産業が栄え、製品は横浜から世界中に輸出されました。現在、中国で大量に生産された安価な製品が世界各地で消費されているのとイメージがダブります。

問題なのは、この経済繁栄はあっという間に終わり、軒を連ねていた大銀行も大手デパートも撤退してしまったまち並みをどのようにして復興させたらよいかという点です。先日訪れた桐生無隣館館長の北川氏は「アートの力」で「世界の桐生」を再生させようと考えています。しかし、理由はわかりませんが、独特な作品で知られる彫刻家の掛井五郎氏が、しばらくの間アトリエとして使っていたノコギリ屋根の工場を去り、東京に帰ってしまったことを考えると、問題が簡単でないことを感じます。



無隣館入口



丸尾さんのアトリエ

—これからのスケジュール—

□「アルテクラブ」は、市民の自主的な参加によって、様々な芸術活動やまちづくり運動を自ら企画、運営し、町に住むことを楽しみたいと考えている会です。みなさんのご提案をお待ちしています。参加してのご感想も、どうぞお寄せ下さい。また「アルテクラブ」は、薄く、広く、皆様のご支援を受けたいと考えています。年会費 3,000 円の会員が一人でも多く参加していただけると嬉しいです。

*ギャラリー会場担当ボランティアを募集しています！
アートサポーターとして、参加してみませんか？

- 6月13日(金) 前半12時～4時、後半4時～7時
- 14日(土) 前半12時～4時、後半4時～7時
- 15日(日) 前半12時～4時、後半4時～7時
- 20日(金) 前半12時～4時、後半4時～7時
- 21日(土) 前半12時～4時、後半4時～7時
- 22日(日) 前半12時～4時、後半4時～7時

*前は、植松さん、小倉さん、新井さん、高桑さん、大島さん、が担当されました。

*会場担当者は時間が拘束されます。参加された方にはポイントがつきます。今までの提供作品会員割引 20% に加え展示作品もポイント獲得数に応じて最大 30% off (例：ポイント獲得数 10 の方は 10% off となります。お時間のとれる方は、草野まで連絡して下さい。



アトリエ

三番町ギャラリー
川越市南通町 14-3
電話 049-226-7735

アルテ クラブ 事務局
草野建築設計事務所
川越市南通町 14-3・102
電話 049-227-8176
ファクス 049-227-8178
e-mail kusano@artecclub.org
URL <http://www.artecclub.org>

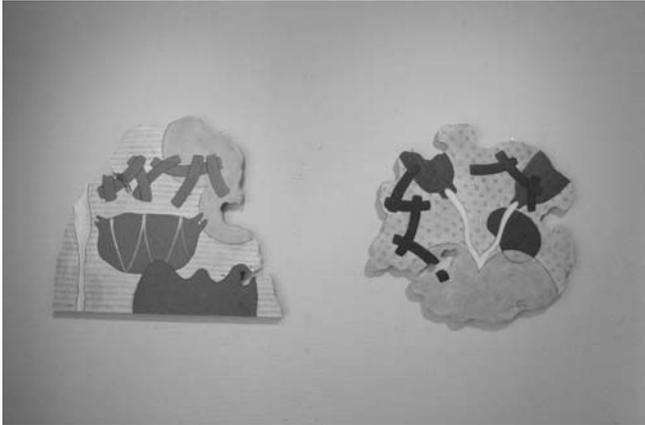
アルテクラブアルバム -前ページからつづき
成田昭展



成田さんです。



友人のアーティスト藤井龍徳さん



桐生まち歩き



北川さん



煉瓦のノコギリ屋根工場



コンクリートの工場跡今はデザイナーのアトリエ



桐生にはイギリス的なステキな家もあった。